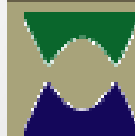


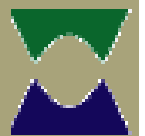
ウッドマイルズ研究会から ウッドマイルズフォーラムへ

木材の環境的情報提供の次のステップ



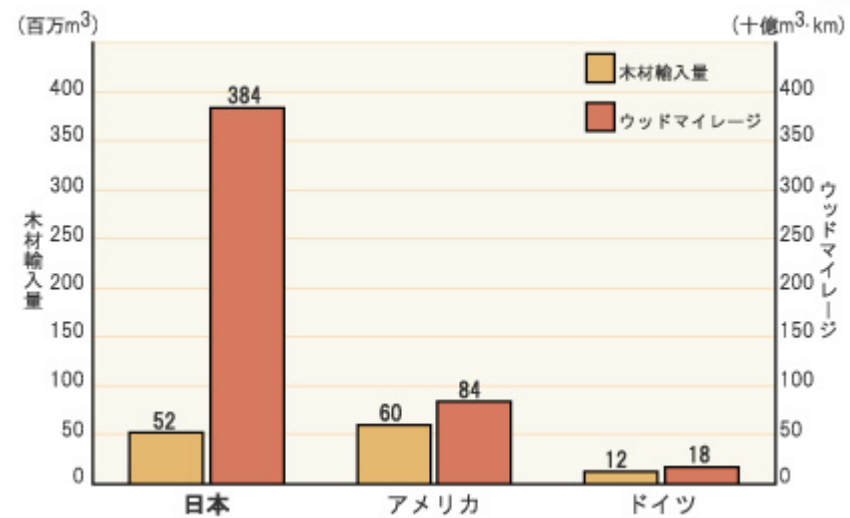
ウッドマイルズ研究会から ウッドマイルズフォーラム

1. ウッドマイルズ研究会が提起したこと
 - 日本の消費者が使う木材の不思議
 - 森林と消費者が近いことの意味
 - ローカルな大切さをグローバルに発信
2. 転機となった木材調達チェックブック
 - 木材の環境情報をわかりやすく
3. フォーラムが挑戦しようとしていること
 - わが国の山村と都市相互の幅広い、安定した地域連携関係の構築に寄与
 - 環境に優しい木材の利用普及を通じて、森林・林業(山村)・木材産業と、消費者の距離を縮める



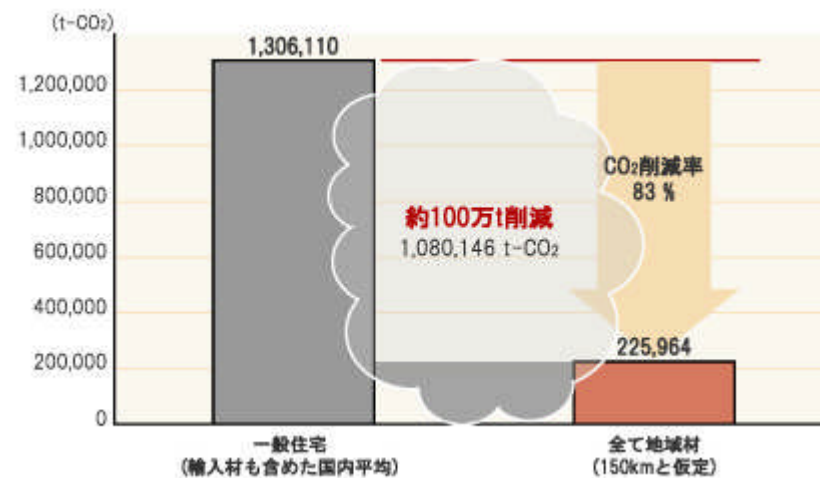
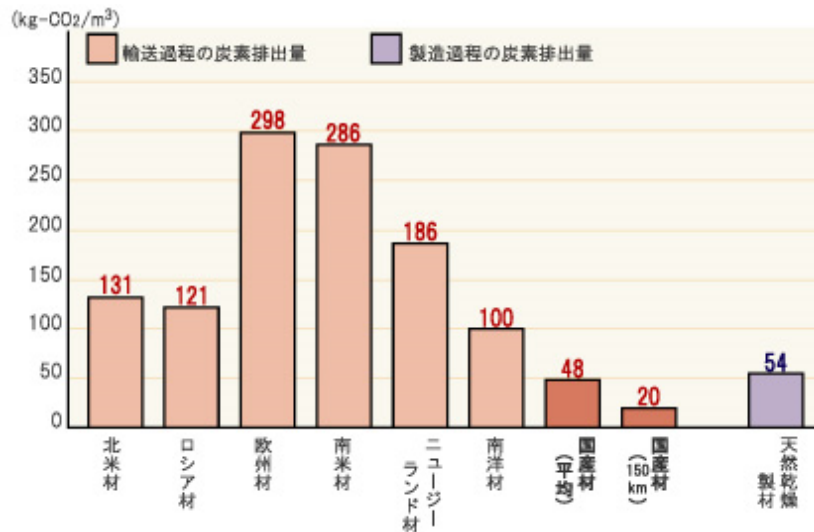
ウッドマイルズ研究会が 提起したこと（１）

- 建築物に使用される木材の輸送距離を短縮し、輸送エネルギーの削減や地域材需要の活性化を目指すため、木材の産地から消費地までの距離（ウッドマイルズ）に関する指標の開発と普及に関する事業を行い、わが国の地域資源の活用と循環型社会の構築へ寄与する。
- 日本の木材貿易の特殊性

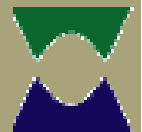


ウッドマイルズ研究会が 提起したこと（２）

- 木材輸送過程のエネルギー

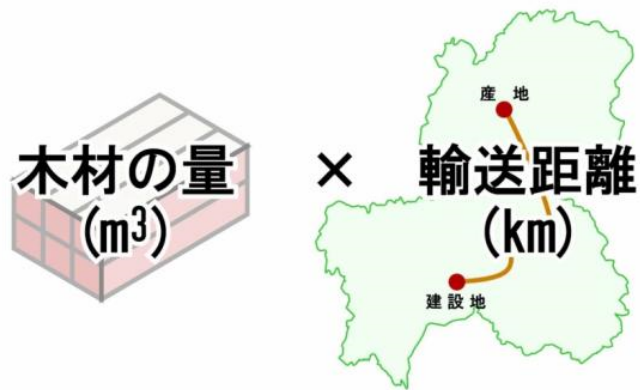


- 仮に現在国内で新築される木造住宅を全て一般住宅から地域材住宅にシフトした場合、木材の輸送過程排出CO₂は、年間およそ100万トン削減されると試算

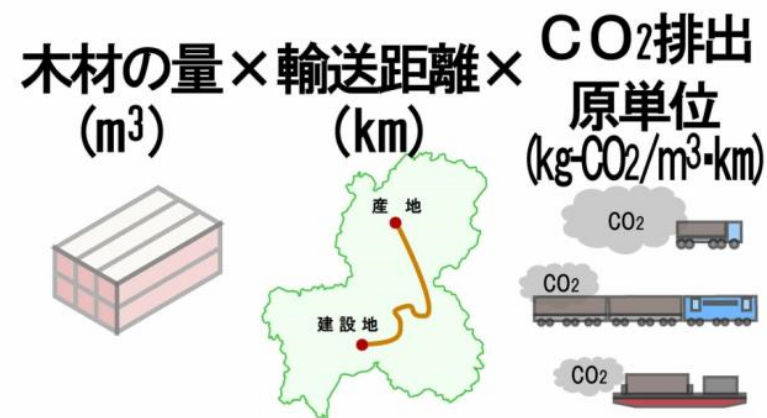


ウッドマイルズ研究会が 提起したこと（3）

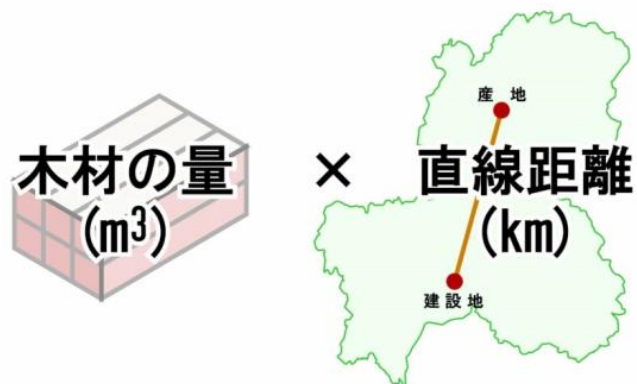
ウッドマイレージ



ウッドマイレージCO₂



ウッドマイレージL



流通把握度

経路の
把握度合い
(%)



ウッドマイルズ研究会が 提起したこと（４）

- ローカルな大切さをグローバルに発信
 - 建築材料世界会議
(バンクーバー)

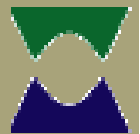


- ウッドマイルズセミナー in シドニー（2006/7）



イアン・フライ

（ツバル国環境省 国際環境アドバイザー）



転機となった 木材調達チェックブック

木材を上手に使うための

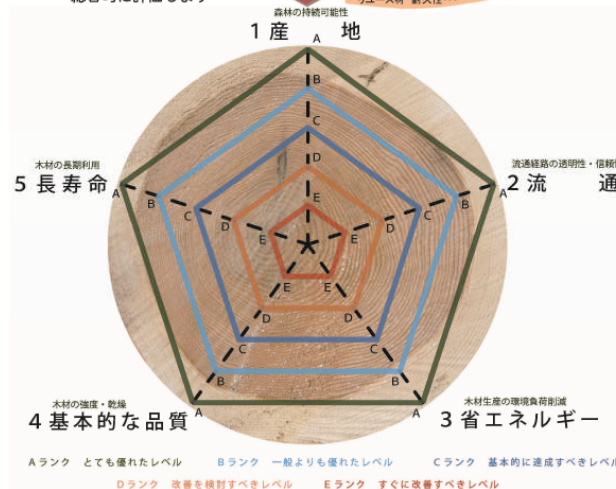
私たちの身近にある木材や木材製品について



様々な指標を用いた
5つのモノサシで
総合的に評価します



森林認証 森林管理計画 森林の見える木材ガイド
都道府県認証 木材組合認証 合法木材
流通把握度 ウッドマイレージ CO2 乾燥エネルギー
ライフサイクル CO2 カーボンフットプリント JAS
強度等級 乾燥処理 当事者間の合意 古材
リユース材 耐久性...



5つのモノサシ

1 産地



- ・森林の適正な管理計画が明確に示され、実施されている。
- ・国内の森林管理法、国際条約と国際的取り決めを遵守している。
- ・林業と地域社会との適正な関係性が保たれている。
- ・生態系、水資源、土壌が適切に保全されている。

森林の持続可能性

2 流通



- ・産地から消費地までの間に木材が流通した、一連の流通経路情報が確認できる。
- ・偽りのない、信頼性の高い情報として確認できる。

流通経路の透明性・信頼性

3 省エネ



- ・木材の製造エネルギー（特に「輸送過程」と「乾燥過程」）の削減に寄与している。

木材生産の環境負荷削減

4 品質



- ・木材製品の品質で特に重要な、強度、含水率が確認できる。

木材の強度・乾燥

5 長寿命

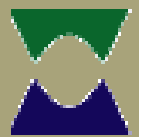


- ・古材やリユース材など長期利用された木材である。
- ・木材の長期利用のための措置や工夫が施されている。

木材の長期利用

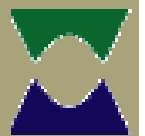
木材の環境情報をわかりやすく

- 森林認証制度
- 森林経営計画（←森林施業計画）
- 森林の見える木材ガイド（フェアウッドパートナーズ）
- 林野庁ガイドラインによる合法木材
- 都道府県産材
- カーボンフットプリント
- JASによる品質確認（乾燥・強度）
- 都道府県による品質確認
- 古材・リユース材
- 耐久性樹種の確認
- 保存処理
- ウッドマイルズCO2
- 流通把握度



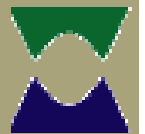
木材の環境情報をわかりやすく

- 産地（森林の持続可能性）
 - 森林認証制度、森林経営計画（←森林施業計画）、森林の見える木材ガイド（フェアウッドパートナーズ）
- 流通（流通経路の透明性・信頼性）
 - 林野庁ガイドラインによる合法木材、都道府県産材、流通把握度
- 省エネ（木材生産の環境負荷削減）
 - ウッドマイレージCO2、カーボンフットプリント
- 品質（木材の強度・乾燥）
 - JASによる品質確認（乾燥・強度）都道府県による品質確認
- 長寿命（木材の長期利用）
 - 古材・リユース材、耐久性樹種の確認、保存処理



ウッドマイルズフォーラムが 目指すもの

- フォーラムの理念と目的
 - 世界が共有する“持続可能な循環型社会の実現”を理念とし、その循環型社会の主役としての木材、特に地域材の持つ環境性能についての理解が広がることの重要性に鑑み、ウッドマイルズ関連指標をはじめとする多面的な指標の開発、普及・利活用の実践を通して、トレーサビリティを確保した地域の木質資源の利活用を推進することを目的とする。
 - あわせて、それらの諸活動を手掛かりに、わが国の山村と都市相互の幅広い、安定した地域連携関係の構築に寄与することを期待する。



ウッドマイルズアワード

- 定款に記載された「地域の木質資源の持続可能な利活用の実践に関する普及、支援」事業の一事業として、主に木材利用者側を対象とし、各地の優れた実践事例を表彰する顕彰事業（ウッドマイルズアワード事業）を開催
- 木材調達チェックブックに記載された5つのモノサシ（産地・流通・省エネ・品質・長寿命）を手掛かりに
- 地域の木質資源の持続可能な利活用に関する優れた仕組みや活動を実践している木材利用グループ又は利用者を発掘し、発表、議論、懸賞、情報発信等を通じて、利活用の実践に関する普及、支援に寄与する。



環境に貢献する木材の供給事業者 のウッドマイルズ認定事業

- 環境に貢献する木材の環境情報の提供が円滑に進むように、主に木材供給者を対象に「ウッドマイルズ関連指標をはじめとする多面的な指標」の信頼できる提供者の認定と、システム構築をはかる。
- 1. 林野庁ガイドラインによる合法性証明木材供給事業者認定
 - (1) 個別事象者の業界団体認定
 - (2) 「個別企業等の独自の取組による証明方法」の承認
- 2. 林野庁ガイドラインによる木質バイオマス発電証明事業者認定
- 3. ウッドマイルズ関連指標等表示事業者認定
ウッドマイルズCO₂、流通把握度も含めた木材調達チェックブックを利用した評価ができる認定
- 4. SGEC、FSC、PEFC のCoC 認定との連携（課題）

環境に優しい木材の利用普及を
通じて、森林・林業（山村）・
木材産業と、消費者の距離を縮
めるウッドマイルズフォーラム
「百年後を見据えて」出発しま
す

応援をお願いします！